

信州大学医学部附属病院 リハビリテーション科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年5月28日

「骨転移患者の退院後転帰に影響を与える日常生活活動の評価と退院後の転帰に関する因子の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6506
研究課題名	骨転移患者の退院後転帰に影響を与える日常生活活動の評価と退院後の転帰に関する因子の検討
所属(診療科等)	リハビリテーション科
研究責任者(職名)	関みなみ(作業療法士)
研究実施期間	医学部長による許可日～2026年3月31日
研究の意義、目的	がんの骨転移患者の退院後転帰に影響を与える日常生活活動の因子を明らかにすること目的とした研究で、退院先に影響を及ぼすADLや患者特性が明らかになれば、早期からのリハビリテーション立案ができ、ADLやQOLの向上につながると考えられます。
対象となる方	2020年4月1日から2025年4月11日までに信州大学医学部附属病院にてがんの骨転移と診断された骨転移ボードにて検討しリハビリテーションを行なった18歳以上の患者さん
利用する診療記録	<p>【基本属性】 年齢、性別、併存疾患(CCI)、入院期間(日数)、退院先(自宅、転院・施設)、身長、体重、BMI</p> <p>【身体機能・ADL能力】 病前ADL依存度(mRS)、BI(下位項目を含む)、基本動作能力(寝返り、起き上がり、端坐位、起立、歩行)、PS、入院前の認知症の有無</p> <p>【全身状態・治療状況・栄養】 リハビリテーション実施期間(日数・単位数)、リハビリテーションのパターン分け、原発巣、装具療法、放射線療法、がん薬物療法、骨修復薬、転移部位(頸椎・胸椎・腰椎・大腿骨・上腕骨・その他)、SINS、Mirels、荷重制限(免荷具合)、Frankel、骨折の有無、栄養評価(GNRI)、疼痛(安静時・動作時)、CAM-ICU、オピオイドの使用状況、オピオイド等価換算</p> <p>【生活状況】 入院前の介護保険の利用(あり・なし)、介護保険のグレード、同居の有無、介護者の有無、入院前の生活</p>

研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、ADL と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 関みなみ(リハビリテーション部作業療法士) 電話: 0263-37-2836

**既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。